

1. 本園の教育目標

- 明るく元気なこども
- よく考え工夫するこども
- 思いやりのあるやさしいこども
- 友だちとなかよく、きまりをまもるこども
- 最後までがんばるこども

2. 本年度重点的に取り組む目標・評価

- ・本園の教育目標の共通理解を深め、一人一人の幼児を大切にした教育の実践を目指す。
- ・日々の保育の中で室内外や、遊具、バス乗降等安全管理への認識を徹底する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

	評価項目		取組み状況
1	保育の在り方	C	「幼稚園の終わりまでに育ってほしい 10 の姿」を意識しカリキュラムに入れて実践していくことができた。
2	教師としての資質や保育の向上	B	幼児の姿を観察し、学年に合わせて計画を策定するように心がけた。教職員一同で、幼児への細かい情報交換をし、保育の中に反映させた。
3	行事への取り組み	A	園外活動を多く取り入れ五感を刺激する体験ができた。行事も分散して行い、縮小せずに形を変え例年の行事をほぼ行えたので、保護者にも子ども達の成長を見てもらえた。

A-十分に成果があった。B-成果があった。C-少し成果があった。D-成果なかった。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価	理由
B	感染症対策をとりながら、行事の見直し改善をはかり、1人1人の幼児を大切にする教育を実践することができた。一方で職員会議や園内研修の時間を確保することが難しかった。

全教職員が自己点検、自己評価に取り組むことで自らの保育を振り返ることができた。コロナ対策で大変であったが、保護者の協力・理解を得ながら保育や行事を行うことができた。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取組み方法
1	指導計画	「10 の姿」を意識した年間計画の作成に努める。
2	安全管理	自然災害・犯罪・バスなど、職員間で共通理解を深めるため、話し合いの機会を増やしマニュアルの改善を図る。
3	保護者との連携	定期的な情報発信を行い、子ども達の成長を共に見守る。引き続き行事の見直しや改善に努める。

6. 学校関係者の評価

自然環境に恵まれ、それらを生かした保育が子ども達の心身の発達にとっても良い影響を与えていると思う。園児数が多いが、職員は他クラスの子どものこともよくみている。園外活動が増え、普段体験できないような体験もさせてもらえた。

学校関係者評価委員

学校関係者評価委員

委員会実施日 令和6年 2月 27日